



しうら

平成2年
6・7月号



おばあちゃん
どの
語り



おばあちゃん
からの
ひとこと

とても元気で明るい子ですよ。学校の方もいそがしいみたいだけど、もっと遊びに来てほしいな。
タエさん (83歳)

三和 沙織さん
(相内小・6年)

今月の主な記事

- 交通死亡事故ゼロ 2
2,500日達成記念大会
- 市浦村消防団の観閲式 3
- 東日流安東まつり 4
- 村民体育大会夏季大会 5
- 安藤物語 6
- おしらせ 7
- 健康への道・戸籍の窓 8

うちの曾おばあちゃん

うちの曾おばあちゃんは、八十三才でも元気で、いつも笑顔を見せてくれます。

曾おばあちゃんの誕生日は、五月五日(子供の日)です。誕生日の五月五日がきても、プレゼントをあげていなかったら、私は修学旅行で、曾おばあちゃんにもっと長生きしてほしいから、お守りを買ってきてあげました。その時はたいへん喜んでくれたので、私もとてもうれしく思いました。

曾おばあちゃんの住んでいる家には、あまり遊びに行かないけれど、時々行くところがいってくれたり、お菓子をくれたりして、とてもやさしい曾おばあちゃんです。時々曾おばあちゃんは、用事で外へ出かけるので、「事故にあわないかな、だいじょうぶかな」と私は心配になります。でも、何もなく帰ってきてくるので安心します。小さい頃、曾おばあちゃんといっしょに遊びに行ったり、などを思い出したりします。いつもやさしい曾おばあちゃん。笑顔を忘れないで、いつまでも元気に長生きしてください。

目指せ
3,000日

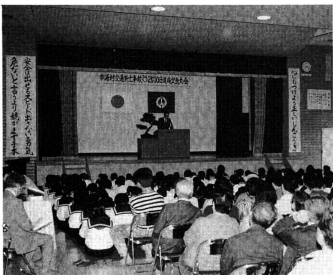
交通死亡事故ゼロ 2,500日達成

県内では第四位の記録 — 村民一丸の成果 —

交通死亡事故ゼロ二千五百日達成記念大会が、六月二十八日村コミユニティセンターで行われ、村民、関係者約三百人が集まり「事故のない明るい村づくり」へ、決意を新たにしました。

交通死亡事故ゼロ二千五百日達成記念大会が、六月二十八日村コミユニティセンターで行われ、村民、関係者約三百人が集まり「事故のない明るい村づくり」へ、決意を新たにしました。

本村では、昭和五十八年八月二十三日、村内磯松の国道三三九号でスピードを出し過



交通死亡事故ゼロ2,500日達成記念大会では、3,000日達成を目標に運動を展開することになりました。

ぎな乗用車の男性が、立木に衝突、死亡する事故が起きました。

その後、村民が一丸となって死亡事故抑止に取り組んだことにより、六月二十七日で悲願の「ゼロ二千五百日」を達成しました。

午後二時から開かれた記念大会では、市浦交通安全協会に金本警察署と金木地区交

通安全協会から表彰状が贈られ、工藤誠一郎助役が、村内の各種団体の日常活動と努力をたたえ、「村民みんなの願い」と力で二千五百日達成することができた。次は三千日を目指し前進しよう」と、三重貢村長のあいさつを代読、高松隆三総務課長から二千五百日達成に至る経過報告のあと、交通安全運動に功績があった十三地区の株式会社高橋林業土木に感謝状が贈られました。続いて、松尾義明県交通安全対策室長（県知事代理）、



▶記念大会終了後、村内をパレード

三橋久県交通部参事官（県警察本部長代理）、工藤安全本警察署長、土岐輝雄金木地区交通安全協会長らが祝辞を述べ、金木高校相内分校三年生の工藤秀人君が「交通規則やマナーを厳守し、事故防止に努

めます」と、誓いのことを述べました。大会終了後、交通安全協会会員らが、村内四地区に分かれてパレード、死亡事故ゼロ三千日へ向けてスタートを切りました。

北海道・上ノ国町から エゾヤマツツジ1,200株寄贈 友好町村の絆深める



役場庁舎前の広場に植樹する関係者

昭和六十三年十一月、友好町村の締結をした北海道・上ノ国町とは、両町村が互いに理解し合うため、スポーツ交流や児童・生徒自然体験学習などを行い、交流を深めてきました。

去る六月八日、上ノ国町から古谷栄吉さんを団長とする緑の徒節團一行八名が本村を訪れ、友好町村提携記念樹として、エゾヤマツツジの苗木約千二百株を市浦村に寄贈し

ました。

記念樹の伝達式では、古谷団長が「みなさんの庭先にも植樹していただき、友好町村の絆を一層深めてくだされば幸いです。」とあいさつしたあと、工藤誠一郎助役が歓迎のことばを述べました。

寄贈されたエゾヤマツツジは、村内の希望者に配布したほか、ふるさとふれあい広場、山村広場、各小学校などにそれぞれ植樹されました。

堂々の分列行進 消防団の観閲式

市浦消防団(三和清平団長の観閲式が六月十三日、相内地区で行われ、放水演習や分列行進をしたあと、市浦中学校用務員室付近から火災発生を想定して、火災防衛及び人命救助訓練を行い、本番さながらの緊張感がみぎっていました。



分列行進



玉落とし競技



人命救助訓練



相内保育所の園児たち

観閲式と防災訓練は、消防団員の規律と服装、訓練を点検、観閲し、災害対策に万全を期し、併せて消防団員相互の親和協調を図り、強力な消防体制の確立により、地域住民の身体、生命、財産を災害から保護するとともに、社会福祉に寄与することを目的に実施しています。

この日は、午前六時のサイレンにより、各消防団員が相内川橋下流に集合し、玉落とし競技をしたあと、三重村長らが観閲する中、約百人の団員に対する熱帯のあと、園兵員姿勢服装点検、機械器具点検など、三重村長らの観閲を受けました。

この日の訓練では、市浦中学校が避難訓練を実施し、同校員らも消火器による消火訓練に参加するなど、本番さながらの緊張感がみぎってなりました。

員による分列行進が行われ、消防自動車、消防ポンプ積載車など八台が加わり、日頃の訓練の成果を披露しました。

来賓祝辞などがありました。

人事異動

七月一日付で、役場職員的人事異動が行われました。

- ◆優良消防団員表彰
 - 佐藤竹治(第一分団第一節)
 - 佐藤輝治(第二分団第二節)
 - 工藤 広(第二分団第一節)
 - 木村弘伸(第三分団第二節)
 - 佐藤 淳(第四分団第一節)
- ◆退団者謝辞
 - 若山國司、亀田文雄、長尾善満、浜田昭彦
- ◆玉落とし競技の成績
 - 第一位 第三分団(1分23秒85)
 - 第二位 第一分団(1分41秒74)
 - 第三位 第二分団(1分41秒94)
- ◆出納室主事補(教委主事補) 柏谷哲治
- ◆総務課主事補(採用) 竹谷裕子
- ◆経済課主事補(同) 鳴海忠
- ◆教委主事補(同) 三和大純
- ◆総務課用務員(同) 三和夏子
- ◆退職 鳴海尚忠(納室長)

汗 道路清掃に 相内小クリーン作戦



熱心にごみ拾いをする児童

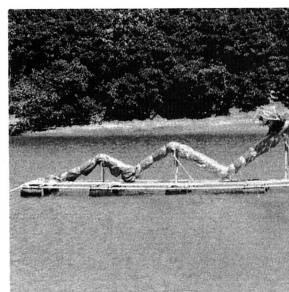
相内小学校(小山内幸一校長、児童数百二十七名)では六月三十日全校児童と教職員が総出で、相内地区全域にわたって道路清掃を行いました。このクリーン作戦は、地域美化にため、進んで奉仕し、協力し合うを目的に毎年行われ、道路沿いや草むらからは捨てられた空き缶、紙くずなどが次々と見つかり、参加した児童らは汗びっしょりの作業となりました。清掃は、約二時間かけて行われ、周辺の道路は見違えるようにきれいになりました。

第5回 東日流安東まつり

東日流安東まつりが七月七日の両日、相内地区の大沼公園を会場に開かれ、約二千人の人出で賑わいました。このまつりは、安東氏の独創的な生き方を村おこしの原点にしようとして、昭和六十一年から開かれていたもので、村商工会、観光協会などの実行委員会が主催しました。

また、午後からは三上寛コンサート、北郡商工会対抗カラオケ大会、民謡ショーなどが行われ、まつりを盛り上げたほか、午後七時からは「大沼の伝説・青竜の火まつり」と花火ショーが繰り広げられ、まつりのフィナーレを飾りました。

また、昨年企画されたユニークな「県下人間馬力大会」も行われ、小学生から大人までの参加者が三人一組で重いそりを引き、本物の馬力コースの障害にチャレンジしていました。



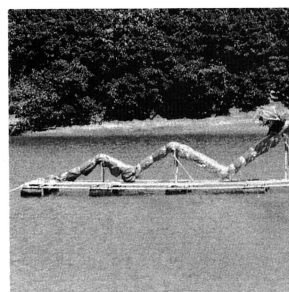
大沼にセットされた「青竜」

大沼の伝説

青竜の火まつり

大沼公園の野外ステージでは、三和芳次商工会長が開会のあいさつをしたあと、津軽さいはて夏紀行コンサート、歌謡ショーと続き、市浦芸能発表会では、脇元小学校の小馬踊り、十三の砂山踊り、地元婦人会による芸能などが披露され、観客の拍手を浴びていました。

夜空に広がる大輪 花火大会



オープニングパレード



地元特産品の売店



野外バーベキュー



脇元小の小馬踊り



北日本馬力大会



県下人間馬力大会



綱引き競技



砲射レース



輪投げ競技



ソフトボール投げ競技

第17回 村民体育大会夏季大会 1,000人が親睦深める

相内第一チームが総合優勝

第十七回村民体育大会夏季大会は、七月十五日午前九時から市浦中学校グラウンドにおいて開催されました。

この大会は、「スポーツを通じて体力の増進と村民相互の親睦を深めよう」と、毎年七月の第三日曜日に関われているもので、村内各地区の地域性を生かし、一人でも多くの村民に参加する機会を与えるため、会場を持ち回りにしています。

今年は、雨天のため午前中で大会を打ち切ったものの、村内から十班が参加し、子供からお寄りまで、選手を含めて約千人の村民が参加しました。

開会式では、木村義光大会長が「スポーツを通じて、体力と精神力の向上をめざして頑張ってください」と激励のあいさつをし、名譽大会長の三重寅村長、伊藤成市浦中学校長、署長、風至幹夫市浦中学校長らがお祝いのことを述べたあと、奈良孝博さん（太田チーム）が「正々堂々最後まで戦います」と、力強く選手宣誓をして競技に入りました。

また、この大会は毎年二月に開催している冬季大会との総合優勝制をとり入れていることから、応援にも熱が入ることから、会場は声援と爆笑がこぼれ出していました。



選手宣誓をした奈良孝博選手



川口定雄さん(相内)
☎62-2247

- ① 就職に際しての注意事項
 - ② 就労前に健康診断を受ける。
 - ③ 出稼ぎ労働者手帳の交付を受ける。
 - ④ 就労前に健康診断を受ける。(通所で行っています)
 - ⑤ 雇入通知書の交付を受ける。(出稼ぎ手帳に記載しても可)
 - ⑥ 事故見舞金に加入する。(年間六百元)
 - ⑦ 暑熱対策に就職する。
- ※また、出稼ぎによる相談、苦情、求人紹介等は、次の出稼ぎ相談員へお問い合わせください。

八月は「安全で明るい出稼ぎ月間」です。

出稼ぎ相談員を ご利用ください



上三浅吉さん(十三)
☎62-3133



斎藤正彦さん(臨元)
☎62-2284

県内の交通事故概況		青森県交通安全協議会	
6月	累計	飲酒運転による死者	20
発生 707 (658)	3,325 (3,126)	乗用 義 勝 者 (着けなければならぬ人)	34
死者 10 (10)	57 (50)	非 乗 用 者 (着けていなかった人)	29
傷者 829 (801)	4,101 (3,847)	うち、着けていれば 助かったと思われる人	9

()内は前年。累計は1月から
 ◎飲酒運転による死者は、死者全体の 35%
 ◎シートベルトを着けていないと、6倍の死亡率

史脈物語

▶ 21 ◀

安藤氏の系圖(8)

中宮信隆

親籍の人びと

宗任
任

(1) 生立
「貞任」のすぐ下の弟で、私たちが小学校の時分の教科書にも出てきた人物です。

「鳥海」の「城主」となったことから「鳥海三郎」とも呼ばれています。

「鳥海城址」は現在の若手県胆沢郡金ヶ崎町大字西根という所に構築されている城跡です。城というより「櫓」とか「館」とかいった方が適当かも知れません。

西北の二面は平坦で、東面はそれより一段低く、南側が胆沢川に臨んだ堅固な館です。宗任の名に因んで俗に「三郎館」とも呼ばれています。

「鳥海城址」は現在の若手県胆沢郡金ヶ崎町大字西根という所に構築されている城跡です。城というより「櫓」とか「館」とかいった方が適当かも知れません。

このたびは秋田家系圖などによって、前回の「貞任」の兄弟たちのことについてお話を進めてまいりたいと思います。

このことは、十三湊「安藤氏」の先祖の親籍に当たる人びとですから、前九年合戦の結果となったのか気がかかるからです。

「貞任」のすぐ下の弟で、私たちが小学校の時分の教科書にも出てきた人物です。父頼時の三男に生まれ通称「弥三郎」と呼ばれて成長しました。六か郡の「郡司」の三男坊ですから幼少の頃から武術はもちろん字間も仕上がったものと推察

である「厨川櫓」に落ちたが、九月十七日厨川櫓も焼討ちになり、貞任等は討死にしましたが、「宗任」は厨川櫓から脱出し、諸所に遊覧していきたくれど、源軍の探索が厳しく遂に八幡太郎義家の度量を頼って降人となりました。

宗任が伊予国を脱出するという噂が京都に聞こえてきて、遂に「宗任」は九州の太宰府に再び移れることになりました。その後のことははっきりしませんが、その子孫が九州に勢力を持っていたともいわれ、現在の元自民党幹事長安倍晋太郎氏の家系が宗任の子孫だといわれていることをつけ添えておきましょう。

治暦三年(一〇六八)、宗任が伊予国を脱出するという噂が京都に聞こえてきて、遂に「宗任」は九州の太宰府に再び移れることになりました。その後のことははっきりしませんが、その子孫が九州に勢力を持っていたともいわれ、現在の元自民党幹事長安倍晋太郎氏の家系が宗任の子孫だといわれていることをつけ添えておきましょう。



宗任は源軍が鳥海櫓に達する以前に、安倍軍最後の砦

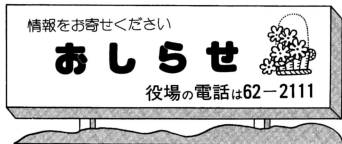
である「厨川櫓」に落ちたが、九月十七日厨川櫓も焼討ちになり、貞任等は討死にしましたが、「宗任」は厨川櫓から脱出し、諸所に遊覧していきたくれど、源軍の探索が厳しく遂に八幡太郎義家の度量を頼って降人となりました。

宗任が伊予国を脱出するという噂が京都に聞こえてきて、遂に「宗任」は九州の太宰府に再び移れることになりました。その後のことははっきりしませんが、その子孫が九州に勢力を持っていたともいわれ、現在の元自民党幹事長安倍晋太郎氏の家系が宗任の子孫だといわれていることをつけ添えておきましょう。

治暦三年(一〇六八)、宗任が伊予国を脱出するという噂が京都に聞こえてきて、遂に「宗任」は九州の太宰府に再び移れることになりました。その後のことははっきりしませんが、その子孫が九州に勢力を持っていたともいわれ、現在の元自民党幹事長安倍晋太郎氏の家系が宗任の子孫だといわれていることをつけ添えておきましょう。

由来、安倍氏の系統は中央国家権力者から「蝦夷」(えぞ)と呼ばれ、身分の卑しい人びとと蔑まれてきました。だが、この一族には芸術的・文学的才能の人びとが多かったことを忘れてはならないと思います。前回の「貞任」と「義家」との戦場での歌の贈答でもわかるように「貞任」はただ武骨一徹の武将ではなかったのです。文学的才能を備えた方であつたのです。

大宮人は何といふらむ
これを聴いた天皇や公卿
たちはその才能の素晴らしい
のに舌を巻いて驚いて感嘆
し、死罪を宥して筑紫(現
九州)の国に流したと「秋
田家系圖」に載せられてい
ます。



市浦村の人口と世帯数

平成2.7.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,366	1,363	413
桂川	103	103	25
太田	308	308	96
龍元	650	615	214
磯松	361	363	116
十三	874	875	264
計	3,662	3,663	1,128

国民年金適用漏れ者の資格適用の実施について

現在、市浦村民において、まだ国民年金に加入していない適用漏れ者があります。そのまま放置しますと、将来年金が支給できなくなってしまう。

村民の将来の年金権を確保するために、適用漏れ者に対する適用対策を実施することになりました。

該当者に対しては、次の方法で実施します。早目に国民年金に加入くださるようお知らせします。

適用該当者

- ①現在、20歳以上で、厚生年金等に加入していない人。
- ②現在、厚生年金等に加入しているが、過去に20歳を過ぎて厚生年金等に加入していないか期間がある人。
- ③現在、厚生年金等に加入している人の配偶者で、20歳を過ぎて今までに国民年金に加入したことのない人。

実施方法

- ①該当者に資格取得勸奨状を送付する。
- ②国民年金加入の申し出を受け付ける。
- ③申し出のない人で、資格が確認された人は職権で適用する。
- ④国民年金資格取得通知書、年金手帳、納付書を送付する。
- ⑤国民年金資格適用を実施する。

実施期間

第1次 6月1日～11月30日

第2次 12月1日～3月31日

その他

・国民年金資格取得申し出の際に、厚生年金等に加入したことのある人は、厚生年金番号証書又は写しを提出してください。

3号被保険者(厚生年金等加入の人の配偶者)は、配偶者の厚生年金番号証書又は写しを提出してください。

- ③該当者については、役場で確認していますが、異動により確認できない場合もありますので、該当すると思われる人は、自主的に申し出てください。

役場民生課国民年金係

10月1日は、国勢調査。

10月1日、全国一斉に5年に1度の国勢調査が行われます。日本に住んでいるすべての人が対象です。あなたも、積極的にご協力をお願いします。

9月下旬に調査員がお伺いします。

検察審査会にご相談を

交通事故、詐欺などの被害にあつて、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれないのはどうも納得できない。

こんな不満をお持ちの方は、検察審査会にお気軽にご相談ください。相談は無料です。秘密は厳しく守られます。

弘前検察審査会事務局
(青森地方裁判所弘前支部内)
電話0172324321(内線340)

就労前講習会のお知らせ

このたびは出稼労働者の授産対策業務を推進するため、次のとおり講習会を実施することになりましたので、受講希望者は窓口①番にお問合せください。

1. 講習科目及び実施年月日等

課目	実施年月日	場所
玉掛	平成2年8月28日～30日	西北労働基準協会
移動式クレーン	平成2年8月28日～30日	*
足場	平成2年8月23日～24日	建設業協会北五支部

2. 受講定員

(1)玉掛及び移動式クレーンについては30名です。

ただし、玉掛と移動式クレーンの両科目を受講すること。

(2)足場については30名です。

3. 受講料

受講料は無料です。

4. 申込み期限

玉掛及び移動式クレーン

平成2年8月17日(金)

足場 平成2年8月10日(金)

ハローワーク五所川原

五所川原公共職業安定所

電話34-3171番

役場は、4月から第2、第4の土曜開庁を実施しております。

※なお、診療所及び保育所は、従来通り開所しています。

8月の開庁日は11日と25日です。

- 丸 〇九級 松橋弘祐(浦田整)
- 〇十級 古川千尋、三浦清香、浜田英嗣、内藤隆一、中井裕子、中島扶紀子(浦田整)
- 岩間智美、一戸薫(辻分球算)
- 〇七級 秋田圭美(浦田整)
- 猿賀寛、大沢巧(辻分球算)
- 〇八級 岡本奈津美(辻分球算)
- 〇九級 松橋弘祐(浦田整)
- 〇十級 古川千尋、三浦清香、浜田英嗣、内藤隆一、中井裕子、中島扶紀子(浦田整)
- 岩間智美、一戸薫(辻分球算)

- 〇三級 葛西理恵、下山夏美、石岡麻紀子(辻分球算)
- 〇四級 相川和哉(浦田整)
- 吉田朝美、葛西真也(辻分球算)
- 〇五級 上野光代、相川高昭(浦田整)
- 〇六級 梶浦美彩子、亀田幸季、相川薫考、相川さゆり、小山内めぐみ(浦田整)
- 中野春菜、三上奈津子、安保多枝子、柏谷幸子、太田麻美(辻分球算)
- 〇七級 秋田圭美(浦田整)
- 猿賀寛、大沢巧(辻分球算)
- 〇八級 岡本奈津美(辻分球算)
- 〇九級 松橋弘祐(浦田整)
- 〇十級 古川千尋、三浦清香、浜田英嗣、内藤隆一、中井裕子、中島扶紀子(浦田整)
- 岩間智美、一戸薫(辻分球算)

合格おめでとう

商工会球算検定試験

第85回全国商工会球算検定試験が七月五日午後三時三十分から各小学校において開催されました。今回の受験者数は、五十八名でしたが、合格者は次のとおりです。

〇二級 大沢七枝(辻分球算)

〇三級 葛西理恵、下山夏美、石岡麻紀子(辻分球算)

〇四級 相川和哉(浦田整)

吉田朝美、葛西真也(辻分球算)

〇五級 上野光代、相川高昭(浦田整)

〇六級 梶浦美彩子、亀田幸季、相川薫考、相川さゆり、小山内めぐみ(浦田整)

中野春菜、三上奈津子、安保多枝子、柏谷幸子、太田麻美(辻分球算)

〇七級 秋田圭美(浦田整)

猿賀寛、大沢巧(辻分球算)

〇八級 岡本奈津美(辻分球算)

〇九級 松橋弘祐(浦田整)

〇十級 古川千尋、三浦清香、浜田英嗣、内藤隆一、中井裕子、中島扶紀子(浦田整)

岩間智美、一戸薫(辻分球算)



暮らしに運動習慣を

ている。

今年度は、適度な運動を習慣づけるため、どんな運動から毎日の生活の中で続けられるか、みなさんの意見を基

本健診の場でお聞きしました。二百八十一人の回答のうち、女性が七十四・四％で、年齢別では五十一・七歳代が約七十五％である。

毎日の生活の中で運動は必要だと思いますかーでは、必要と思う人は八十二・二％である。それは、健康のため、老化防止、気分転換、肥満予防等があげられている。

必要としない人は、殆んど仕事で体を使っているためである。

歩く健康法(効果)

運動を必要と思つて、何かしている人は、四十五％であった。みなさんの意見の中で、続けるとしたら、「歩くこと」が最も多かったので、歩く健康法をすすみたいと思えます。

①毛細血管の循環がよくなる。手足を動かすと毛細血管の流れがよくなり、新陳代謝も盛んになる。

②血管が若々しくなる。血管が運動に対しての適応力をもち、弾力性のある若々しい血管になります。四十歳代から歩き始めれば、動脈硬化を抑えることができます。

③足腰が強くなる。首から肩、腕の筋肉、背中心から腰、足の筋肉が鍛えられ、凝りや痛みもなくなります。加えて姿勢もよくなります。

④カロリー消費で肥満防止。⑤消費量が増大し、肥満の子防にもなります。ジョギングと違って特に準備運動はいりません。ゆっくり歩きはじめて徐々にペースをあげていけば体がほぐれてきます。

中高年者では、運動直後の一分間の脈拍が百二十を目安にするとういでしょう。

②血管が若々しくなる。血管が運動に対しての適応力をもち、弾力性のある若々しい血管になります。四十歳代から歩き始めれば、動脈硬化を抑えることができます。

③足腰が強くなる。首から肩、腕の筋肉、背中心から腰、足の筋肉が鍛えられ、凝りや痛みもなくなります。加えて姿勢もよくなります。

④カロリー消費で肥満防止。⑤消費量が増大し、肥満の子防にもなります。ジョギングと違って特に準備運動はいりません。ゆっくり歩きはじめて徐々にペースをあげていけば体がほぐれてきます。

中高年者では、運動直後の一分間の脈拍が百二十を目安にするとういでしょう。

運動をしないとどうなるか

●血圧が昇るために、血圧や動脈の調節作用も低下し、脳血管の病気や心臓病の発症リスクが高くなる。

●心臓の機能が低下し、体内に酸素を取り入れる働きが落ちるため、ちょっとした運動でも息切れがしやすくなる。

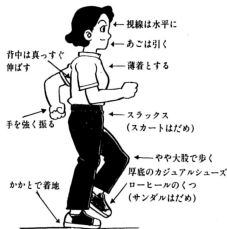
●全体の体力が低下し、疲れやすくなり、不要な運動などが必要になる。また、老化による骨密度の低下や、関節炎の発症リスクが高くなる。

●筋肉が縮み、力が出せなくなる。また、骨もろくなる。骨密度の低下や、関節炎の発症リスクが高くなる。

●肥満になりやすくなり、動脈硬化や高血圧、心臓病などの危険因子になる。



早足で歩くための服装と歩き方



視線は水平に

あごは引く

肩着とする

背中が真っすぐ伸びず

手を強く振る

かかとで着地

スラックス(スカートはだめ)

やや大股で歩く
厚底のカジュアルシューズ
ローヒールのくつ(サンダルはだめ)

この裡、相内地区の三上長五郎さんの庭先で、春に一度咲いたモクレンの花が二度咲きました。

三上さんでは、モクレンの花を植えて八年になりましたが、思わぬ珍事に喜んでいました。

(写真 - 7月26日撮影)

街の話題

藤原 信(山梨)
奈智子(十三)
下山 達(太田)
石田 晶子(七戸)



ご結婚

井村 正太(磯松) 信也
吉田 誠也(相内) 勇二
今野 優佳(十三) 忠教
濱田 麗奈(十三) 睦夫
藤田 英(磯松) 靖



お誕生

戸籍の窓

田代 衛(静岡)
梶浦 千可子(十三)
小林 幸春(中里)
日比野 辰男(十三)
木莊 聡美(東京)
山内 恭幸(相内)
青山 和子(葛川原)
坂島 美義(十三)
金子 義弘(横浜)
澤田 佳子(相内)

おくやみ

岡本 京子(相内) 95才
佐藤 くに(相内) 96才
白川 カシ(相内) 95才
木津谷 きく(相内) 68才
田中 義雄(磯松) 61才
柏谷 豊次郎(相内) 78才
木村 正男(磯松) 65才
竹谷 石太郎(福元) 82才